



グラフ付水位データ集録装置

WLG-01N

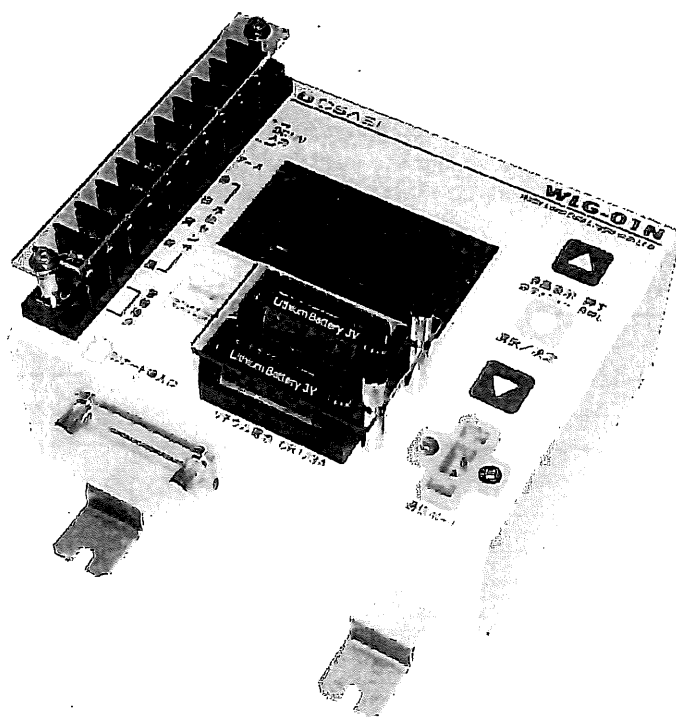
取扱説明書

2. 操作編

Rev.1.0

Apr.2016

操作に入る前に別冊の取扱説明書「1.機能編」をご覧ください。
弊社製ネットワークコントローラ「NetCT-1」を用いた操作方法は別冊の
取扱説明書「3.ネットワークコントローラ編」をご覧ください。



株式会社オサシ・テクノス
OSASI TECHNOS INC.

はじめに

この度はグラフ付水位データ集録装置「WLG-01N」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、本機を内蔵の液晶画面およびメニュースイッチで操作する方法について記載しています。よくお読みのうえ、正しくお取扱ください。

本機の機能詳細および仕様については、別冊の「取扱説明書 1.機能編」に記載しています。操作に入る前にこちらをお読みください。

また、お読みになった後も本書および別冊の「取扱説明書 1.機能編 / 3.ネットワークコントローラ編」は大切に保管し、いつも手元においてお使いください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- ② 本書の内容は、将来予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ③ 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
- ④ 弊社では本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、②項に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

安全上の注意

本機をお使いいただく上でご注意いただきたい内容を、別冊の「取扱説明書 1.機能編」に記載しています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

困ったときは

本機の使用中に「故障かな？」と感じる事態が発生しましたら、別冊の「取扱説明書 1.機能編」に記載されている「トラブルシューティング」の内容をまずご確認ください。

それでも事態が改善されない場合は、弊社営業課または顧客サービス課までご連絡ください。

目次

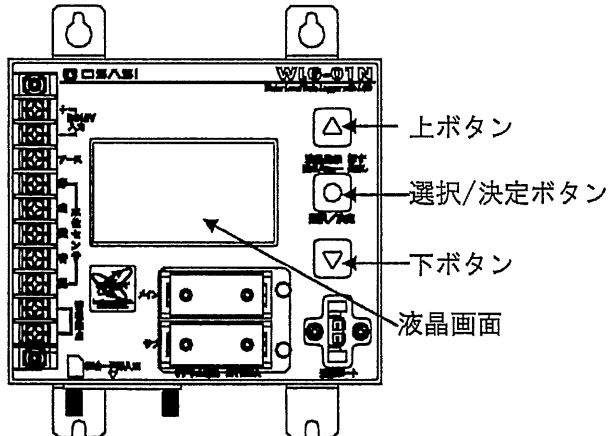
| | |
|-----------------------|----|
| 1. 機器操作概要 | 1 |
| 1.1. 表示・操作部品 | 1 |
| 1.2. 機器設定手順例 | 2 |
| 2. データ表示画面の操作方法 | 4 |
| 2.1. グラフ表示画面 | 5 |
| 2.2. 測定値一覧画面 | 6 |
| 2.3. 現在データ画面 | 7 |
| 3. 設定メニュー操作方法 | 8 |
| 3.1. 機器設定 | 9 |
| 3.2. 警報設定 | 22 |
| 3.3. ネットワーク設定 | 31 |
| 3.4. メンテナンス | 33 |
| 4. 工場出荷時の設定 | 39 |

1. 機器操作概要

1.1. 表示・操作部品

下図を参照ください。

液晶画面にデータやグラフ、設定等のメニューを表示し、上/下ボタンおよび選択/決定ボタンで操作します。



以下、上ボタンを△、下ボタンを▽、選択/決定ボタンを○で表現することがあります。

1.1.1. データ・グラフ表示を開始する

液晶画面消灯中に選択/決定ボタンを押すと、データおよびグラフの表示を開始します。

この画面から上/下ボタンで移動できる表示画面群を「**データ表示画面**」と呼びます。

また、後述の「設定メニュー」の先頭画面で「戻る」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押すことでも、データ表示画面に移動できます。

データ表示画面を表示した状態で、操作を行わず1分が経過すると、データ表示画面を終了し、液晶画面を消灯します。無操作による自動消灯は「3.4.メンテナンス」の「⑨液晶常時表示」(P.38)で消灯をせずに常時表示するように変更可能です。

データ表示画面の詳細は「2.データ表示画面の操作方法」(P.4)で順次説明します。

1.1.2. 本機の設定を開始する

液晶画面消灯中または、データ表示画面表示中に選択/決定ボタンを長押しすると、本機の設定をする画面を表示します。

この画面から「戻る」以外にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押した先で移動できる画面を「**設定メニュー**」と呼びます。

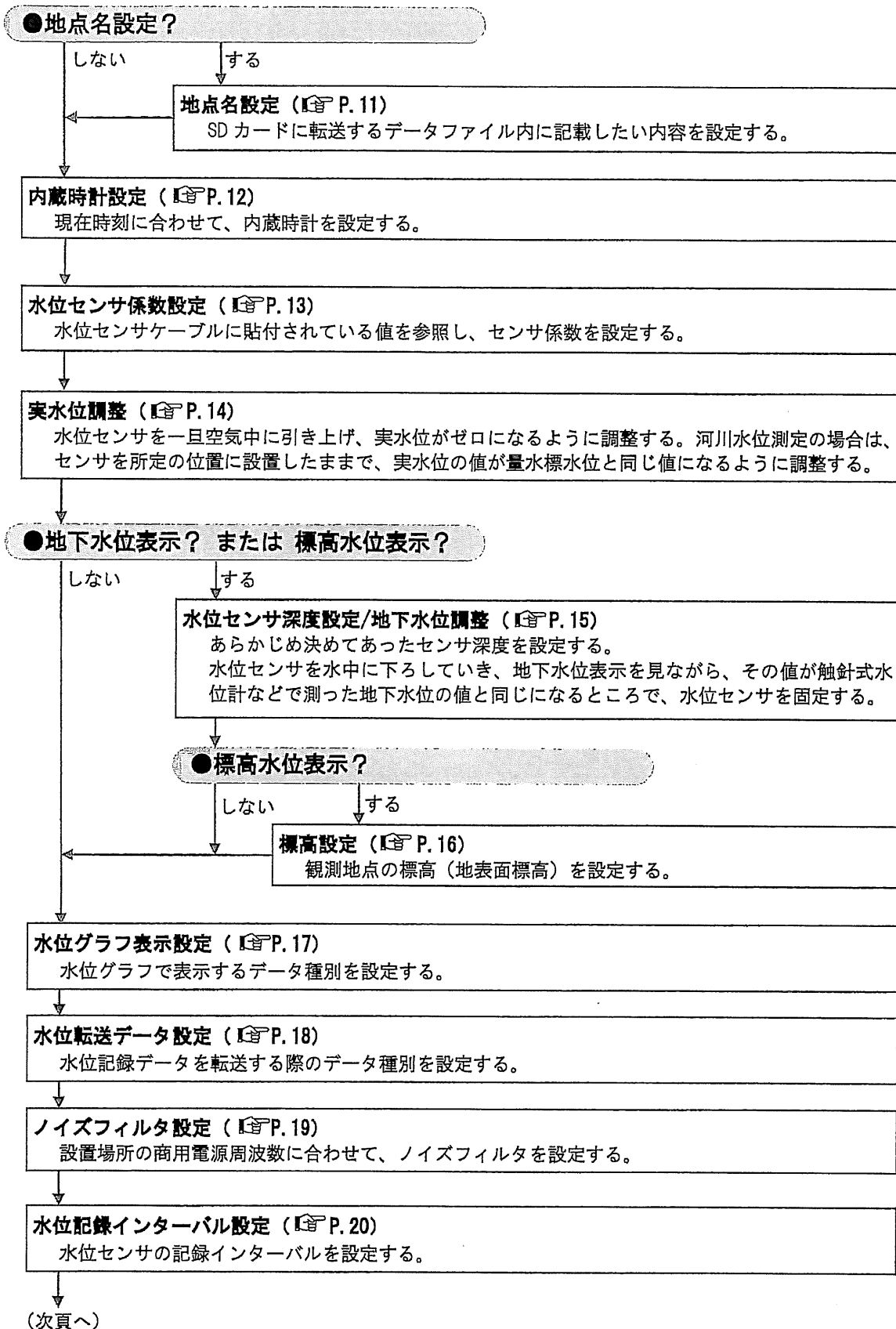
設定メニューを表示した状態で、操作を行わず3分が経過すると、設定メニューを終了し、液晶画面を消灯します。無操作による自動消灯は「3.4.メンテナンス」の「⑨液晶常時表示」(P.38)で消灯をせずに常時表示するように変更可能です。

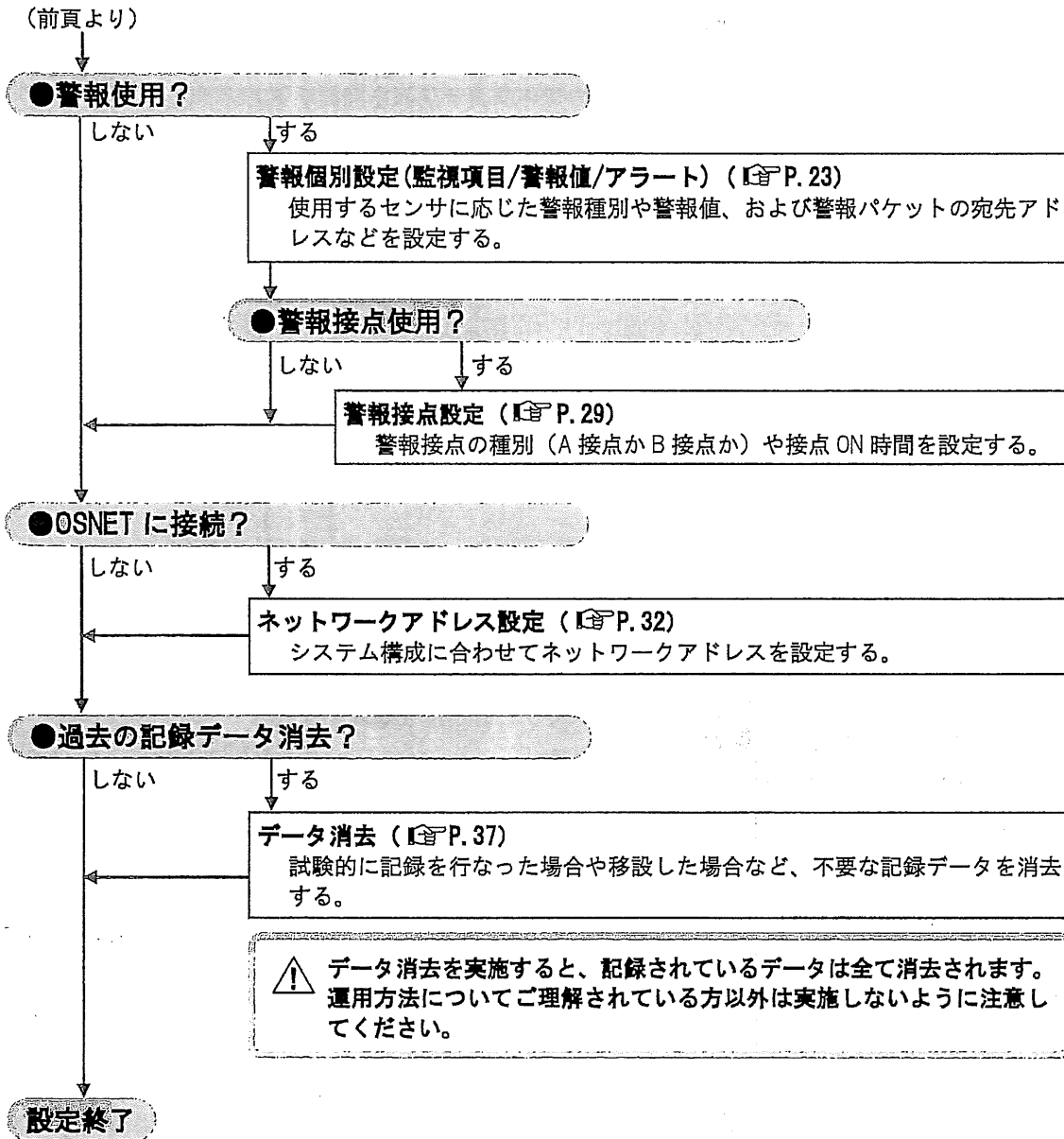
設定メニューの詳細は「3.設定メニュー操作方法」(P.8)で順次説明します。

1.2. 機器設定手順例

1.2. 機器設定手順例

本機の設定手順の一例を、フロー図にて示します。





設定に抜けがないことを確認し、記録開始を実行してください。(☞ P.21)

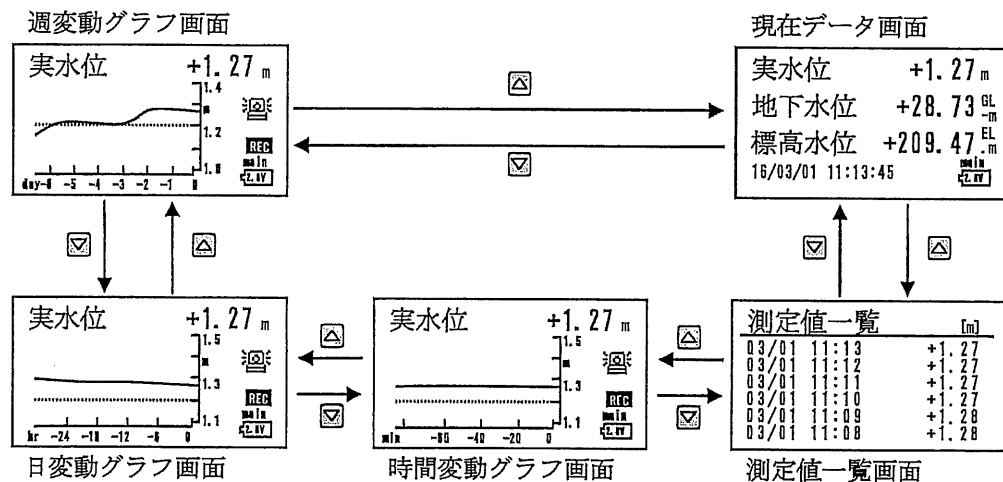
2. データ表示画面の操作方法

2. データ表示画面の操作方法

「1.1.1.データ・グラフ表示を開始する」(P.1)の操作でデータ表示画面を開始すると、下図左上の画面が液晶に表示されます。

ここで、上/下ボタン(△▽)を押すと下図のように画面が切り替わります。

《データ表示画面の遷移図》



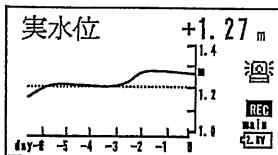
いずれの画面でも、ボタン操作をせずに1分が経過すると、自動的にデータ表示を終了して、液晶画面を消灯します。

以下、各画面の表示内容および操作方法を示します。

2.1. グラフ表示画面

グラフ表示画面には「週変動グラフ画面」「日変動グラフ画面」「時間変動グラフ画面」があります。週変動グラフは過去1週間の、日変動グラフは過去1日の、時間変動グラフは過去1時間の水位変動の様子を確認できます。

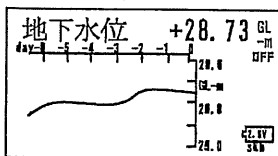
《実水位表示》



画面の最上段は、現在の水位です。

グラフの縦軸は水位を表し、グラフ表示する期間内の測定値に応じて、自動的にスケールを決定して表示します。横軸は時間経過を表し、一番右を現在に、グラフ画面ごとにそれぞれ1週間分、1日分、1時間分遡ったデータまで、スケールを固定して表示します。

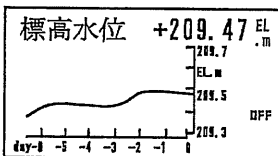
《地下水水位表示》



メイン表示のグラフでは、水位の変動を実線で表現し、縦軸スケール内に警報値が含まれる場合は、その値を水平の破線で表現します。

現在の水位データおよびグラフ表示値は「3.1.機器設定」の「⑧水位グラフ」(P.17)にて、「実水位」「地下水水位」「標高水位」の何れかに変更できます。(左図参照)

《標高水位表示》



なお、本機の警報は実水位で判定するため、表示水位が「地下水水位」または「標高水位」の場合は警報値(水平の破線)を表示しません。

(各水位観測データの定義については、別冊の「取扱説明書 1.機能編」の「水位観測データの定義」の章を参照ください)

上記のほか、グラフ表示画面内には警報発令中アイコン(水)、記録状態表示(REC/OFF)、電源電圧表示(主/サブ)を表示します。

警報発令中アイコン(水)は、警報設定の何れかが警報状態 ON の場合のみ表示します。

(図中の《実水位表示》は警報状態 ON の場合、《地下水水位表示》《標高水位表示》は警報状態 OFF の場合の画面表示です)

記録状態表示(REC/OFF)は、記録が開始している場合は「REC」が点灯し、停止している場合は「OFF」が点滅します。

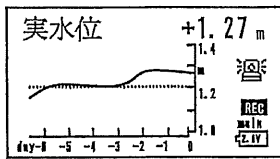
(図中の《実水位表示》は記録が開始している場合、《地下水水位表示》《標高水位表示》は記録が停止している場合の画面表示です)

電源電圧表示(主/サブ)は電池マーク外に電源種別を、電池マーク内に電圧を表示します。

電源種別の「main」は本機がメイン電池で駆動していることを表し、「sub」はサブ電池、「DC」は外部電源で駆動していることを表します。なお、縦軸目盛の最小値表示桁数によって電源電圧を表示できない場合があります。

(図中の《実水位表示》はメイン電池駆動の場合、《地下水水位表示》はサブ電池駆動の場合、《標高水位表示》は縦軸目盛の最小値表示桁数によって電源電圧を表示できない場合の画面表示です)

2.2. 測定値一覧画面



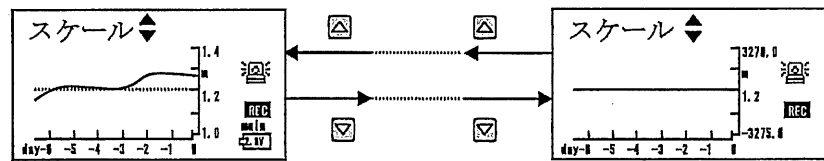
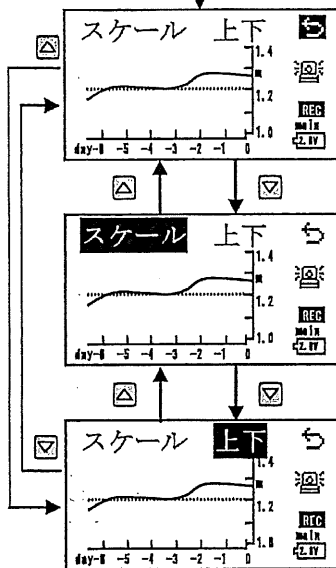
グラフ表示画面表示中に選択/決定ボタンを押すと、表示調整メニューを表示し、水位グラフの表示を調整できます。

上/下ボタンで調整したい項目にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押してください。

表示調整後、戻る記号(←)にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押すと、グラフ表示画面に戻ります。

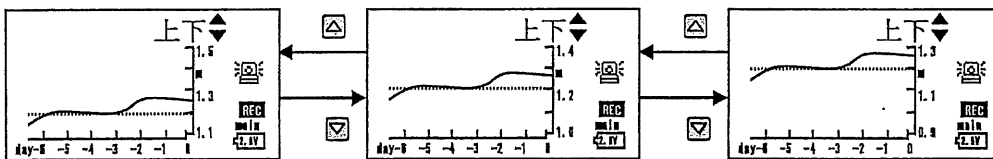
なお、他のグラフやデータ表示画面、機器設定メニュー表示に移動したり、液晶画面を消灯したりすると、ここでの表示調整はリセットされます。

「スケール」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押すと、水位スケールの調整(下図)ができます。



縦軸中央の目盛を中心に、上ボタンで拡大、下ボタンで縮小します。スケールが決定したら、再度選択/決定ボタンを押してください。表示調整メニューに戻ります。

「上下」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押すと、水位目盛位置の調整(下図)ができます。



上ボタンを押すと目盛ひとつ分上に、下ボタンを押すと目盛ひとつ分下に移動します。水位目盛位置が決定したら、再度選択/決定ボタンを押してください。表示調整メニューに戻ります。

グラフ調整中も、ボタン操作を中断していると、1分経過後に液晶画面を消灯しますのでご注意ください。

2.2. 測定値一覧画面

測定値一覧画面では、本機に記録したデータを確認できます。

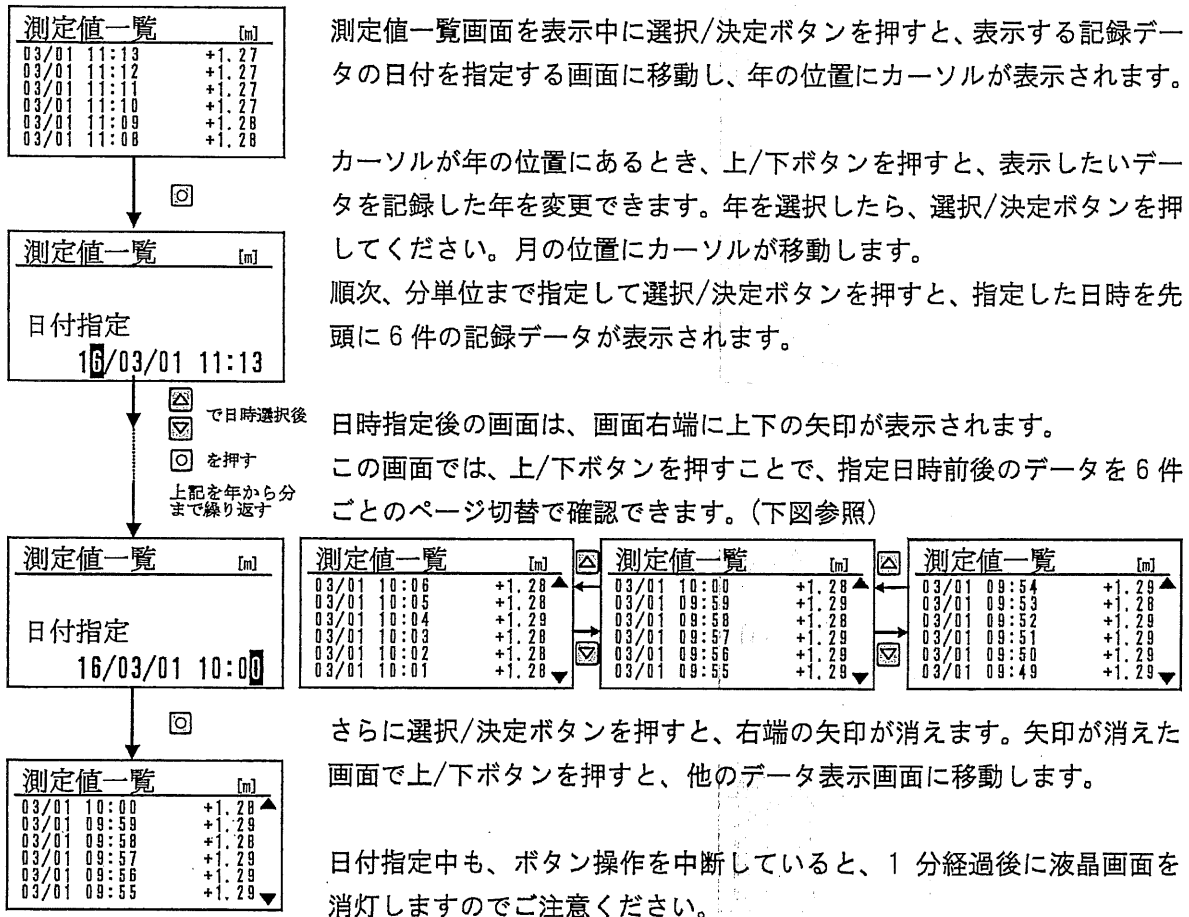
記録インターバルが1分以上の場合は記録インターバル毎の記録データを、1分未満の場合は1分(00秒)毎の記録データを1ページ6件まで表示します。

| 測定値一覧 | | | [m] |
|-------|-------|--|-------|
| 03/01 | 11:13 | | +1.27 |
| 03/01 | 11:12 | | +1.27 |
| 03/01 | 11:11 | | +1.27 |
| 03/01 | 11:10 | | +1.27 |
| 03/01 | 11:09 | | +1.28 |
| 03/01 | 11:08 | | +1.28 |

最上段には、「測定値一覧」と表示している水位の単位を表示します。

2段目以降は、最新の記録データから順に過去のデータを6件表示します。

表示値は「3.1.機器設定」の「⑧水位グラフ」(P.17)にて、「実水位」「地下水位」「標高水位」の何れかに変更できます。最上段の右に記載した水位の単位が[m]の場合は「実水位」、[GL-m]の場合は「地下水位」、[EL.m]の場合は「標高水位」を表示しています。



2.3. 現在データ画面

現在データ画面では、現在の水位データを確認できます。

| | |
|-------------------|-------------------------|
| 実水位 | +1.27 ^m |
| 地下水位 | +28.73 ^{GL-m} |
| 標高水位 | +209.47 ^{EL.m} |
| 16/03/01 11:13:45 | |

表示する現在の水位データは、上段から「実水位」「地下水位」「標高水位」です。

画面下段には、現在の本機内蔵時計と電源電圧表示()を表示します。

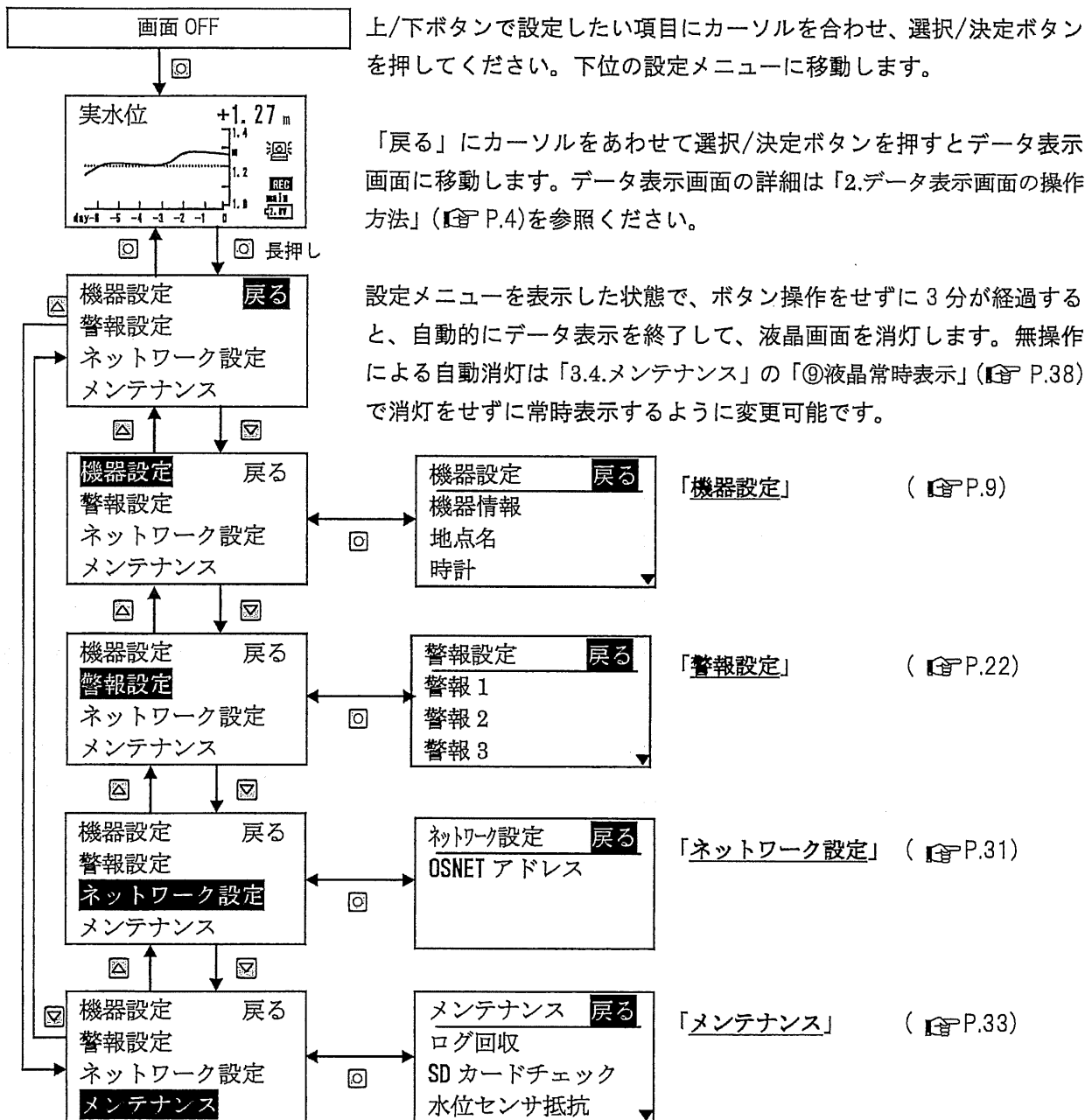
電源電圧表示は電池マーク外に電源種別を、電池マーク内に電圧を表示します。

電源種別の「main」は本機がメイン電池で駆動していることを表し、「sub」はサブ電池、「DC」は外部電源で駆動していることを表します。

現在データ画面表示中も、ボタン操作を中断していると、1分経過後に液晶画面を消灯しますのでご注意ください。

3. 設定メニュー操作方法

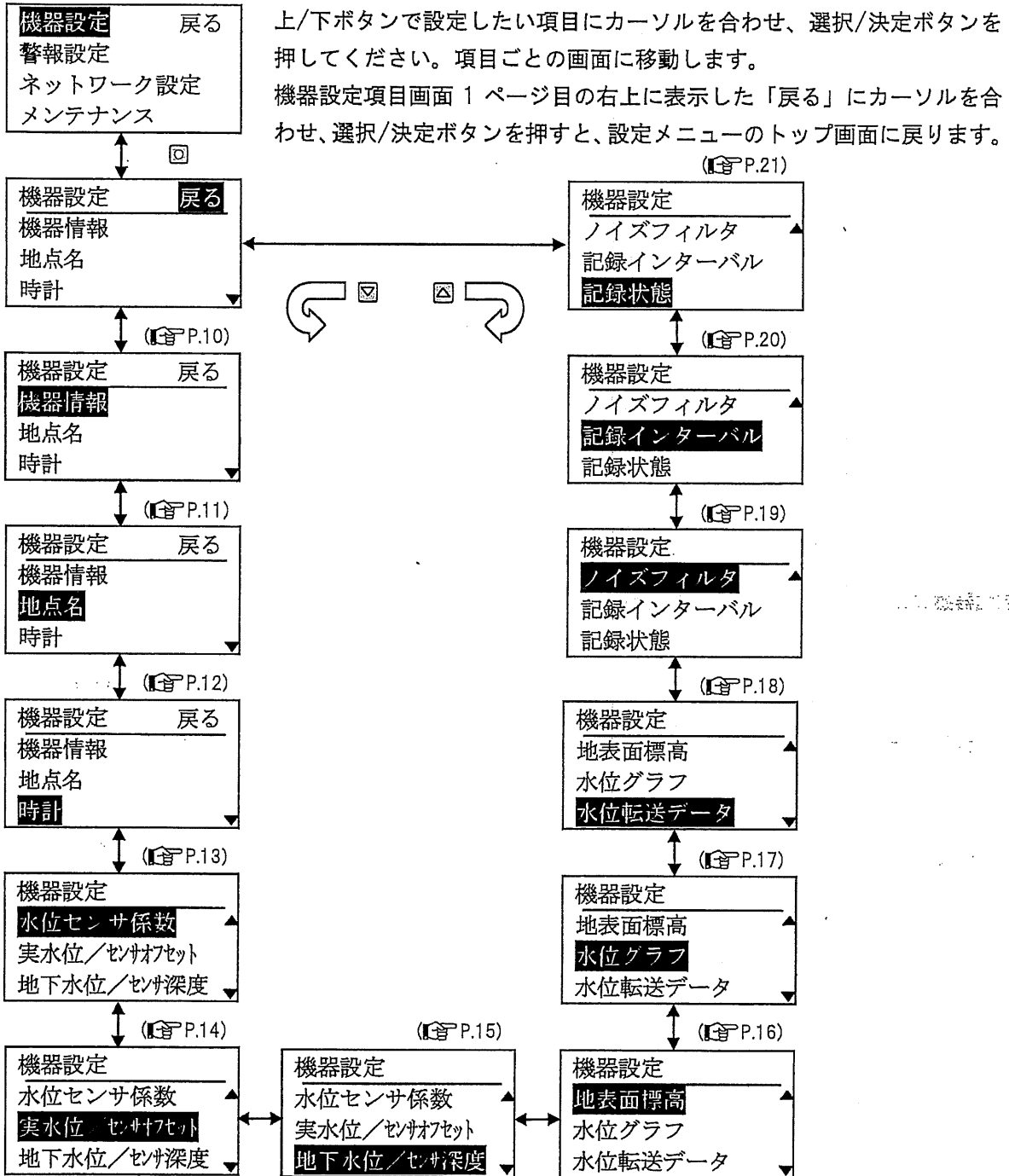
「1.1.2.本機の設定を開始する」(P.1)の操作で本機の設定を開始すると、下図左上の画面が液晶に表示されます。



以下、各項目ごとに画面の表示内容および作方法を示します。

3.1. 機器設定

設定メニューで「機器設定」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、測定データの記録や機器の運用に関する設定を行う「機器設定項目画面」が表示されます。



以下、各項目ごとの詳細な操作方法を記載します。

3.1. 機器設定

① 機器情報

| | |
|-------------|----|
| 機器設定 | 戻る |
| 機器情報 | |
| 地点名 | |
| 時計 | |

本機の型番とバージョン、製造番号、現在の電源電圧および内部温度が確認できます。

この項目では設定操作をおこないません。

↑ ↓

| | |
|---------------------|----|
| 機器情報 | 戻る |
| WLG-01N Ver1.0 (AN) | |
| 製造番号 : 00000001 | |
| メイン電池 3.0V +25°C | |

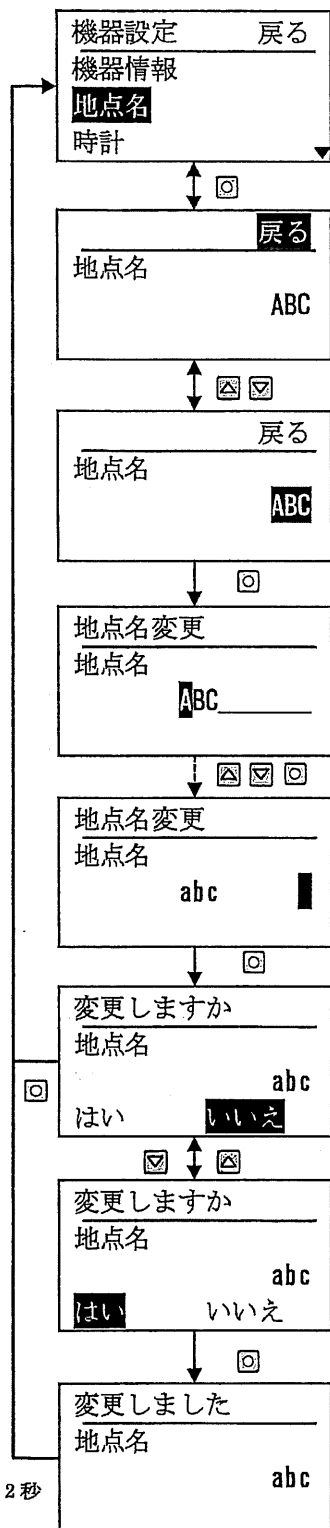
機器設定項目の「機器情報」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。機器情報画面に移動します。

二段目に機器型番と機器バージョン、三段目に製造番号、四段目に現在の電源電圧と内部温度が表示されます。

三段目の電源種別は、本機がメイン電池で駆動している場合は「メイン電池」、サブ電池で駆動している場合は「サブ電池」、外部電源で駆動している場合は「DC 電源」と表示します。

機器情報画面で選択/決定ボタンを押すと、機器設定項目画面に戻ります。

②地点名



SD カードや弊社製の OSNET ネットワークコントローラ「NetCT-1」等を用いて回収できる CSV ファイルに記載する地点名を変更します。地点名は、最大 10 文字設定できます。ファイルの内容や回収手順は別冊の「取扱説明書 1.機能編」を参照してください。

機器設定項目の「地点名」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。地点名変更メニューに移動します。

三段目に表示されているのが、現在の地点名です。地点名を設定していない場合、「未設定」と表示されます。

(左図は「ABC」と設定している場合の表示)

上/下ボタンで地点名にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、地点名変更画面を表示し、カーソルが地点名の 1 文字目に移動します。地点名変更画面で上/下ボタンを押すと、カーソル位置の文字を下記の使用可能文字に記載した順にしたがって変更できます。選択/決定ボタンを押すと、次の位置にカーソルを移動します。(地点名が 10 文字に満たない場合、後方をスペース表示します)

《使用可能文字》

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz アイエオカクケコクカ
スセソタチツトナニメハヒフホマミメモヤヨリルロワヅン* -アイウエオヤヨウ 0123456789+-. (スペース)

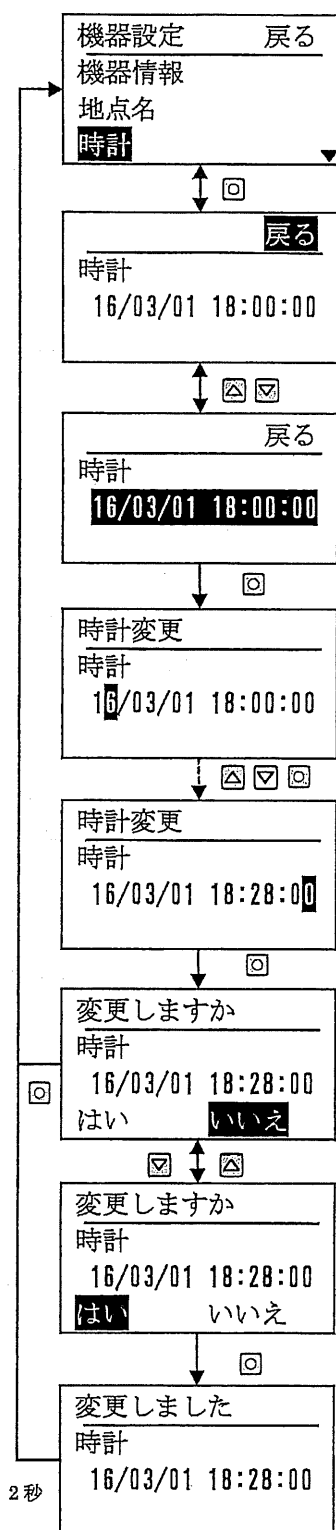
※ 10 文字に満たない地点名を設定したい場合は後方を、地点名を消去したい場合は 10 文字全てをスペースで埋めてください。

カーソルを 10 文字目まで進めて、最後に選択/決定ボタンを押すと、設定変更画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

3.1. 機器設定

③時計



本機内蔵の時計を確認/変更します。本機は内蔵時計の時刻を元に、測定や記録を行います。

なお、内蔵時計は記録状態がONになっていると変更できませんので、記録状態をOFFにしてから変更してください。

機器設定項目の「時計」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。時計変更メニューに移動します。

三段目に表示されているのが、現在の時刻です。

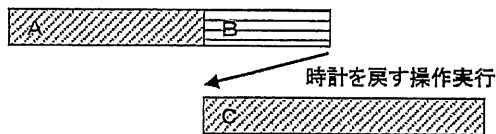
上/下ボタンで現在の時刻にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、時計変更画面を表示し、「年」の位置にカーソルが移動します。時計変更画面で上/下ボタンを押すと、カーソル位置にしたがって、それぞれ「年」「月」「日」「時」「分」「秒」の単位で時計を変更します。(上ボタンで時計が進み、下ボタンで時計を戻す)

現在の日付・時刻にあわせて選択/決定ボタンを押すと、順次「月」「日」「時」「分」「秒」にカーソルを移動します。最後の「秒」を決定すると、設定変更確認画面に移動します。

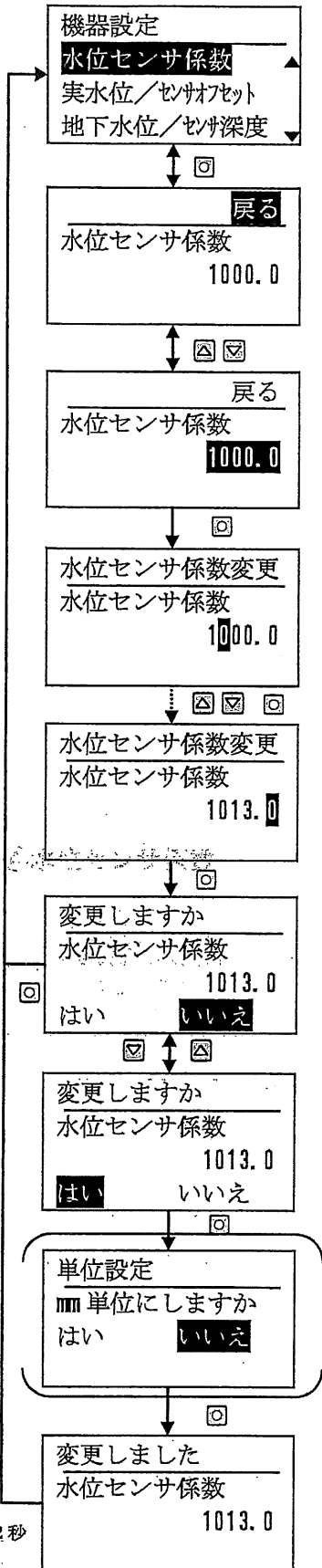
設定変更確認画面に表示されている時計は進行しません。上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、設定した時計をスタートしたいタイミングで、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

なお、設定変更確認画面で「いいえ」を選択すると設定を変更せずに、機器設定項目画面に戻ります。(時計変更メニュー操作中も、内部では時計が進行していますので、この操作で時計がずれることはありません)

⚠ 下図のように時計を戻した場合、CFカードやSDカードに転送して作成されるCSVファイル内には「B」部分のデータのあとに「C」部分のデータが書き込まれます。(回収方法 別冊の「取扱説明書 1.機能編」)
ただし、「2.2.測定値一覧画面」(P.6)では「B」の部分のデータは表示されません。



④水位センサ係数



水位センサ係数を確認/変更します。水位センサ係数とは水位センサと本機とを適合させるための固有の値で、水位センサケーブルに記載されている値を設定します。

機器設定項目の「水位センサ係数」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。水位センサ係数変更メニューに移動します。三段目に表示されているのが、現在の水位センサ係数です。

上/下ボタンで水位センサ係数にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、水位センサ係数変更画面を表示します。上/下ボタンでカーソル桁を増減し、選択/決定ボタンを押してください。カーソルが一桁移動します。最下位の桁(小数第一位)で選択/決定ボタンを押すと、設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。設定した係数が 400.0 以上の場合、単位設定画面に移動します。

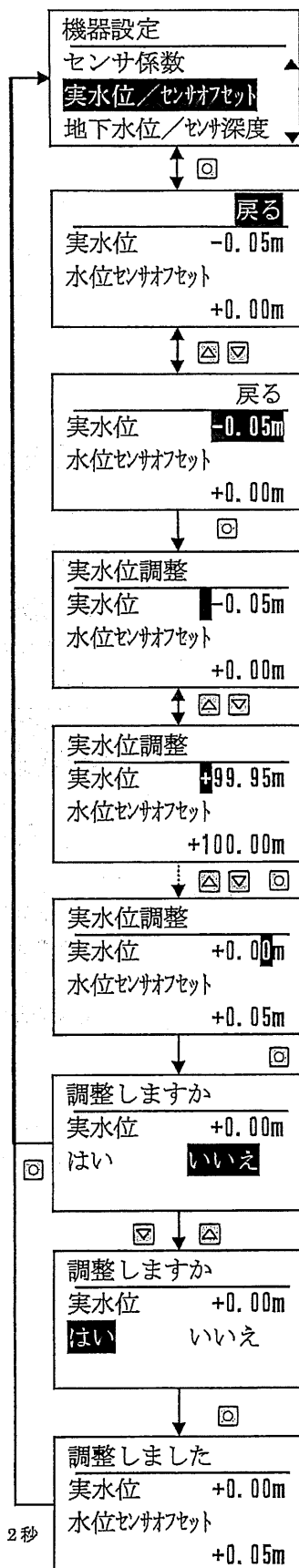
単位設定画面では、表示分解能(水位測定値等を表示したときにどの桁まで表示するか)の設定します。ここで「はい」を選択すると 1mm(0.001m)分解能に、「いいえ」を選択すると 1cm(0.01m)分解能に設定されます。単位設定画面で「はい」または「いいえ」を選択して選択/決定ボタンを押すと、変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

なお、水位センサ係数を 400.0 未満に設定した場合は、単位設定画面を表示せずに、変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。この場合、分解能は 1mm となります。

2秒

3.1. 機器設定

⑤実水位/水位センサオフセット



実水位の確認/調整、および水位センサオフセットの確認/変更をします。実水位を正しく表示するには、「水位センサ係数」および「水位センサオフセット」を設定しておく必要があります。水位観測データの定義は、別冊の「取扱説明書 1.機能編」の「水位観測データの定義」の章を参照ください。

機器設定項目の「実水位/センサオフセット」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。実水位調整・水位センサオフセット変更メニュー画面に移動します。

二段目に表示されているのが現在の実水位、四段目に表示されているのが水位センサオフセットです。

上/下ボタンで水位にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、実水位調整画面を表示します。実水位調整画面では、現在の測定値を確認しながら実水位を調整できます。水位センサ係数を正しく設定していれば、「水位センサを引き上げて大気中に出した状態で実水位を0mに調整する」等の操作が可能です。上/下ボタンでカーソル桁を増減し、選択/決定ボタンを押してください。カーソルが一桁移動します。このとき、「実水位」の調整に伴って、「水位センサオフセット」も変化します。最下位の桁で選択/決定ボタンを押すと、設定調整確認画面に移動します。

設定調整に間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

なお、実水位調整・水位センサオフセット変更メニュー画面で、四段目に表示した水位センサオフセットにカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、水位センサオフセット変更画面に移動します。水位センサオフセット変更画面では、四段目に表示した「水位センサオフセット」の値を変更します。「水位センサオフセット」の増減は、二段目に表示した「実水位」に反映されます。

《水位センサオフセット変更画面》

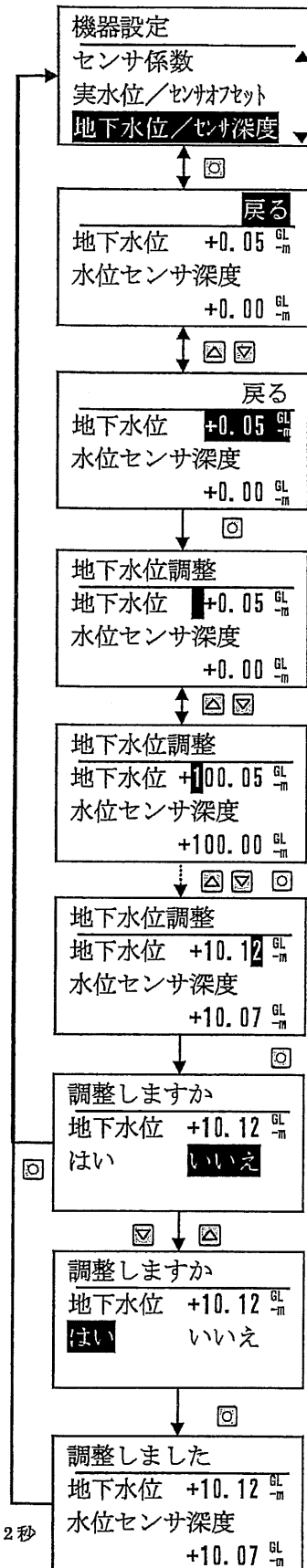
| |
|-------------------|
| 水位センサオフセット変更 |
| 実水位 -0.05m |
| 水位センサオフセット +0.00m |

《設定変更確認画面》

| |
|-------------------|
| 変更しますか |
| 水位センサオフセット +0.05m |
| はい いいえ |

| |
|-------------------|
| 水位センサオフセット変更 |
| 実水位 +0.00m |
| 水位センサオフセット +0.05m |

⑥地下水/水位センサ深度



地下水位の調整、および水位センサ深度の確認/変更をします。水位センサ深度は、地下水位表示を有効にするためのもので、あらかじめ決められている水位センサの設置深度を設定します。水位観測データの定義は、別冊の「取扱説明書 1.機能編」の「水位観測データの定義」の章を参照ください。

機器設定項目の「地下水/センサ深度」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。地下水調整・水位センサ深度変更メニュー画面に移動します。

二段目に表示されているのが現在の地下水位、四段目に表示されているのが水位センサ深度です。

上/下ボタンで現在の地下水位にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、地下水調整画面を表示します。地下水調整画面では、現在の地下水位測定値を確認しながら水位センサ深度を変更できますので、「現在の地下水位を触針式水位計の測定値にあわせる」等の操作が可能です。上/下ボタンでカーソル桁を増減し、選択/決定ボタンを押してください。カーソルが一桁移動します。この「地下水位」の調整に伴って、「水位センサ深度」も変化します。

最下位の桁で選択/決定ボタンを押すと、設定調整確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

なお、地下水調整・水位センサ深度変更メニュー画面で、四段目に表示した水位センサ深度にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、水位センサ深度変更画面に移動します。水位センサ深度変更画面では、四段目に表示した「水位センサ深度」の値を変更します。水位センサ深度の増減は二段目に表示した「地下水位」に反映されます。

《水位センサ深度変更画面》

| |
|--------------------|
| 水位センサ深度変更 |
| 地下水位 +0.05 GL-m |
| 水位センサ深度 +0.00 GL-m |

| |
|---------------------|
| 水位センサ深度変更 |
| 地下水位 +10.05 GL-m |
| 水位センサ深度 +10.00 GL-m |

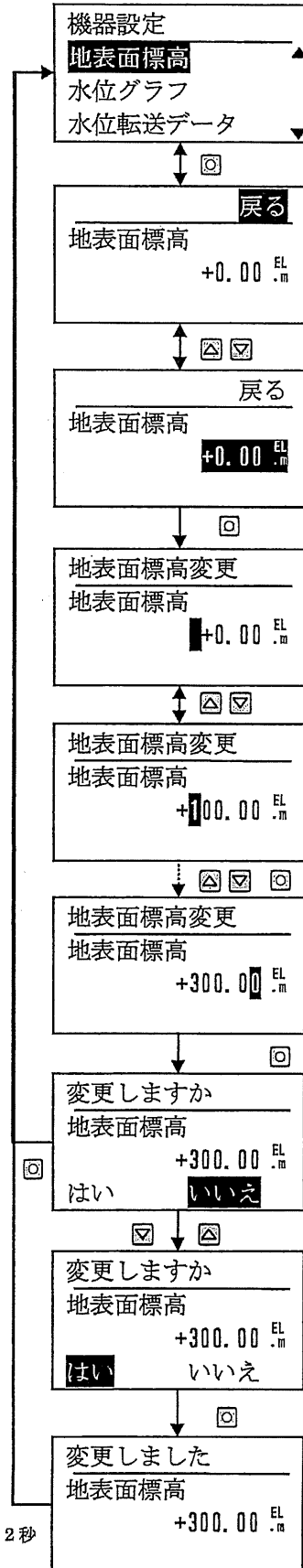
《設定変更確認画面》

| |
|---------------------|
| 変更しますか |
| 水位センサ深度 +10.00 GL-m |
| はい いいえ |

※ 地下水調整(水位センサ深度変更)を実行すると、画面上表示されていない標高水位の値も連動して変更されます。

3.1. 機器設定

⑦ 地表面標高



地表面標高を確認/変更します。地表面標高は、標高水位表示を有効にするためのもので、測定場所の標高を設定します。水位観測データの定義は、別冊の「取扱説明書 1.機能編」の「水位観測データの定義」の章を参照ください。

機器設定項目の「地表面標高」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。地表面標高変更メニューに移動します。三段目に表示されているのが、地表面標高です。

上/下ボタンで地表面標高にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、地表面標高変更画面を表示します。上/下ボタンでカーソル桁を増減し、選択/決定ボタンを押してください。カーソルが一桁移動します。最下位の桁で選択/決定ボタンを押すと、設定変更確認画面に移動します。

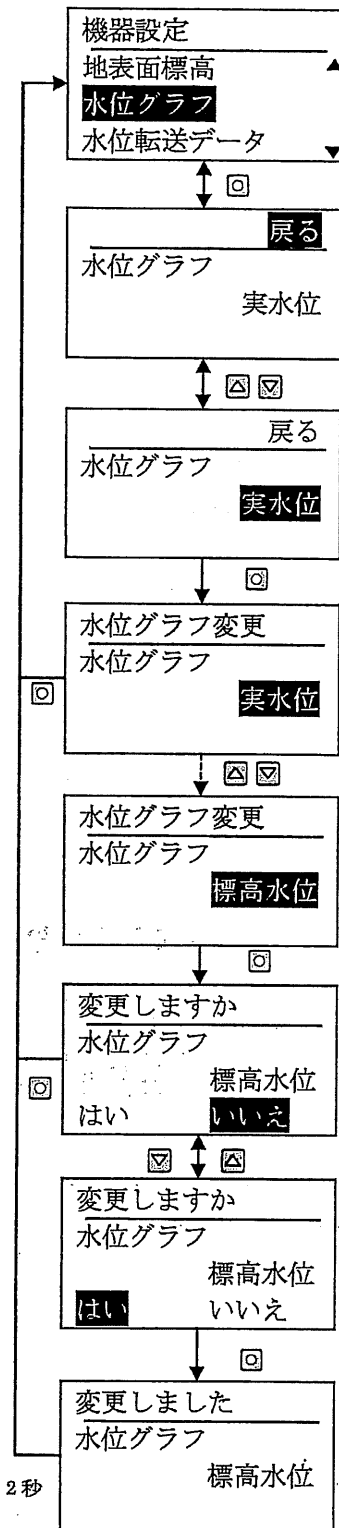
変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

地表面標高の値を変更すると、標高水位の値が連動して変更されます。標高水位は地表面標高から地下水位を差し引いて算出しますので、標高水位を表示するためには地下水位が正しく表示できるようになっている必要があります。

! 標高水位を表示したい場合は、地表面標高を設定するだけでなく、「水位センサ深度」を設定した上で地下水位の値を触針式水位計などの実測値に合わせるようにしてください。これらを実行していないと、正しい標高水位は得られませんので、ご注意ください。

! 基準面からの河川水位を表示したい場合、水位センサ深度をゼロ、地表面標高を零点高の値に設定し、「実水位/水位センサオフセット画面」で実水位の値を量水標の示す値に合わせることで、標高水位は基準面からの河川水位になります。

④水位グラフ



グラフ表示画面(P.5)に表示する水位観測データの種類を確認/変更します。水位観測データの定義については、別冊の「取扱説明書 1.機能編」の「水位観測データの定義」の章を参照ください。

機器設定項目の「水位グラフ」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。水位グラフ変更メニューに移動します。三段目に表示されているのが、水位グラフで表示するデータの種類の設定です。(左図は実水位を表示する設定の場合)

上/下ボタンで観測データの種類にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、水位グラフ変更画面に移動します。上/下ボタンで「実水位」「地下水位」「標高水位」から設定したいデータ形式に変更し、選択/決定ボタンを押してください。設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

3.1 機器設定

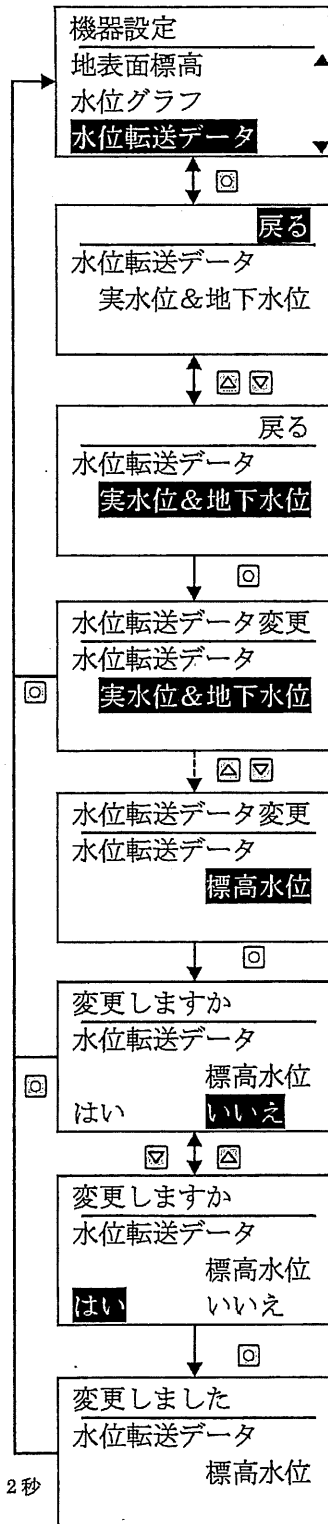
水位観測データの種類を変更し
たい場合は、設定画面

から「水位グラフ」を選択

し、「水位グラフ変更」

3.1. 機器設定

⑨水位転送データ



SD カードや弊社製の OSNET ネットワークコントローラ「NetCT-1」等を用いて回収できる水位データファイル(CSV ファイル)のデータ形式を確認/変更します。水位データファイルの回収手順や内容は別冊の「取扱説明書 1.機能編」の「データ回収手順」および「CSV ファイル内容」を参照してください。

機器設定項目の「水位転送データ」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。水位転送データ変更メニューに移動します。

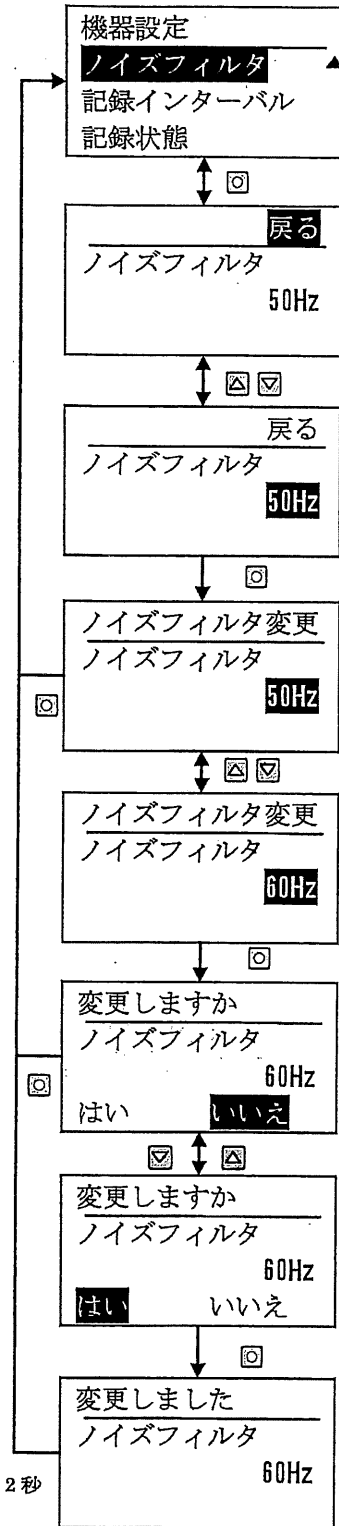
三段目に表示されているのが、現在のデータ形式です。

(左図は実水位と地下水位を回収する設定の場合の表示)

上/下ボタンでデータ形式にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、水位転送データ変更画面に移動します。上/下ボタンで「実水位」「地下水位」「実水位&地下水位」「標高水位」「実水位&標高水位」より、設定したいデータ形式に変更し、選択/決定ボタンを押してください。設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

⑩ ノイズフィルタ



ノイズフィルタとは、アナログ入力に混在する商用電源ノイズをデジタル処理によってカットするものです。本機をご使用になる地域の商用電源周波数を設定します。

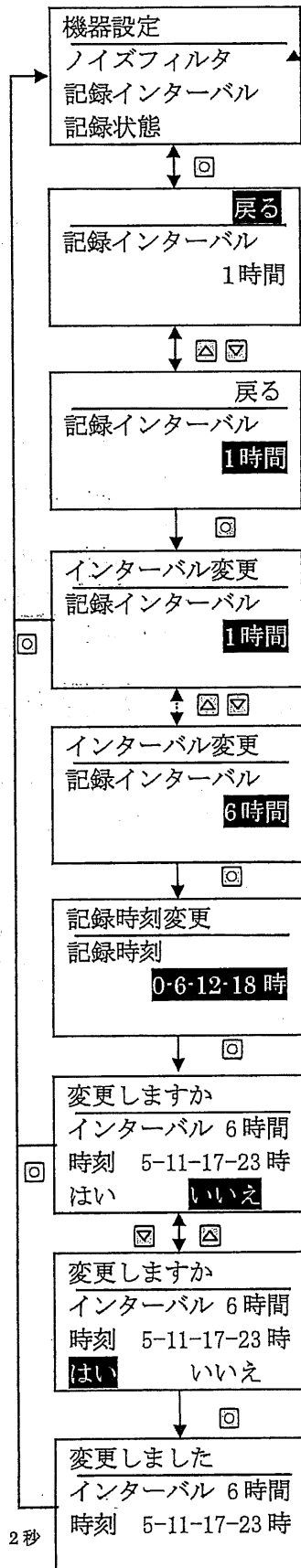
機器設定項目の「ノイズフィルタ」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。ノイズフィルタ変更メニューに移動します。三段目に表示されているのが、現在の周波数です。

上/下ボタンで周波数にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、ノイズフィルタ変更画面に移動します。上/下ボタンで、「50Hz」または「60Hz」を選択して、選択/決定ボタンを押してください。設定変更画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

3.1. 機器設定

⑩記録インターバル



記録インターバルを確認/変更します。

記録インターバルを設定して、記録状態を ON にすると、設定した記録インターバル毎に水位を測定し本機に記録します。

なお、記録インターバルは記録状態が ON になっていると変更できませんので、記録状態を OFF にしてから変更してください。

機器設定項目の「記録インターバル」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。記録インターバル変更メニューに移動します。三段目に表示されているのが、現在の記録インターバルです。

上/下ボタンでインターバルにカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、記録インターバル変更画面に移動します。上/下ボタンで記録インターバルを選択して、選択/決定ボタンを押してください。

設定可能な記録インターバルは下記です。なお、「無し」に設定すると、記録機能を ON にしても記録処理は行われません。

[記録インターバルの設定範囲]

1秒, 2秒, 5秒, 10秒, 20秒, 30秒,
1分, 2分, 5分, 10分, 20分, 30分,
1時間, 2時間, 3時間, 6時間, 12時間, 1日, 無し

記録インターバルが6時間以上の場合、記録時刻変更画面に移動します。この画面では、上/下ボタンで記録時刻を1時間単位で変更できます。記録したい時刻を選択して、選択決定ボタンを押してください。設定変更確認画面に移動します。

なお、記録インターバルが6時間未満の場合は、記録時刻変更画面を経由せずに、設定変更確認画面に移動します。

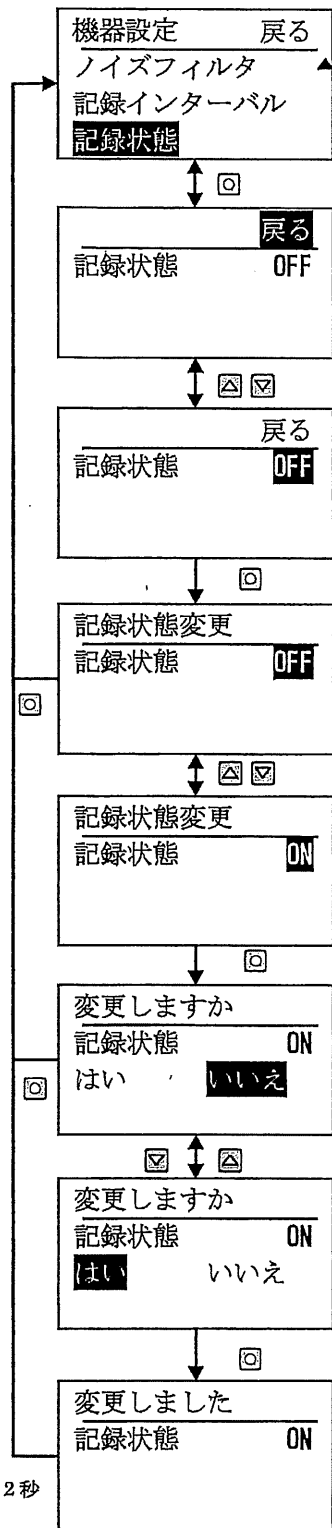
左図は記録インターバルが6時間以上の場合の設定変更確認画面です。

記録インターバルが6時間未満の場合は、記録時刻を表示しません。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

2秒

⑫記録状態



記録状態を確認/変更します。記録状態を ON にすると、記録インターバル毎に水位を測定し本機に記録します。記録状態を OFF にすると、記録動作を停止します。なお、記録を停止すると、水位のほか、本機動作環境の情報(電源電圧や内部温度)や水位センサ抵抗値の記録も停止します。

機器設定項目の「記録状態」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。記録状態変更メニューに移動します。

二段目の右側に表示されているのが、現在の記録状態です。

(左図は記録が停止している場合の表示)

上/下ボタンで現在の記録状態にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、記録状態変更画面に移動します。上/下ボタンで「ON」または「OFF」を選択して、選択/決定ボタンを押してください。

設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

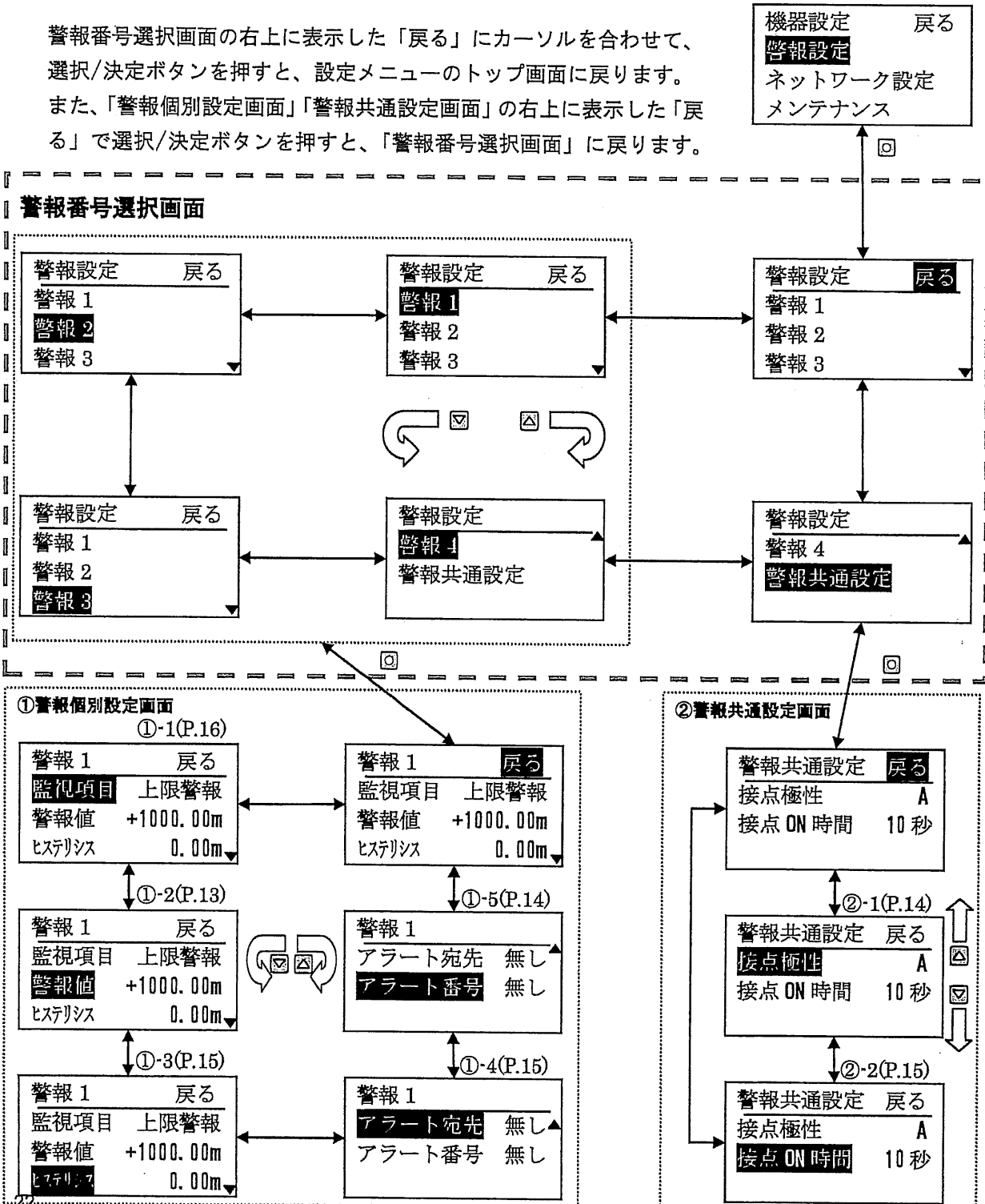
3.2. 警報設定

3.2. 警報設定

設定メニューで「警報設定」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、「警報番号選択画面」が表示されます。上/下ボタンで設定したい警報番号、または「警報共通設定」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。

「警報 1」～「警報 4」を選択した場合は「警報個別設定画面」に、「警報共通設定」を選択した場合は「警報共通設定画面」に移動します。

警報番号選択画面の右上に表示した「戻る」にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、設定メニューのトップ画面に戻ります。また、「警報個別設定画面」「警報共通設定画面」の右上に表示した「戻る」で選択/決定ボタンを押すと、「警報番号選択画面」に戻ります。



①警報個別設定画面

警報個別設定画面では、警報番号毎の設定を確認/変更できます。警報番号選択画面で、「警報 1」～「警報 4」より設定したい警報番号にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。

1 ページ目

| | |
|--------|-----------|
| 警報 1 | 戻る |
| 監視項目 | 上限警報 |
| 警報値 | +1000.00m |
| ヒステリシス | 0.00m |

画面左上に警報番号選択画面で選択した警報番号が表示されます。警報個別設定画面で確認/変更できる項目は下記です。

「①-1 監視項目」 (P.24)

「①-2 警報値」 (P.25)

「①-3 ヒステリシス」 (P.26)

「①-4 アラート宛先」 (P.27)

「①-5 アラート番号」 (P.28)

2 ページ目

| | |
|--------|----|
| 警報 1 | |
| アラート宛先 | 無し |
| アラート番号 | 無し |

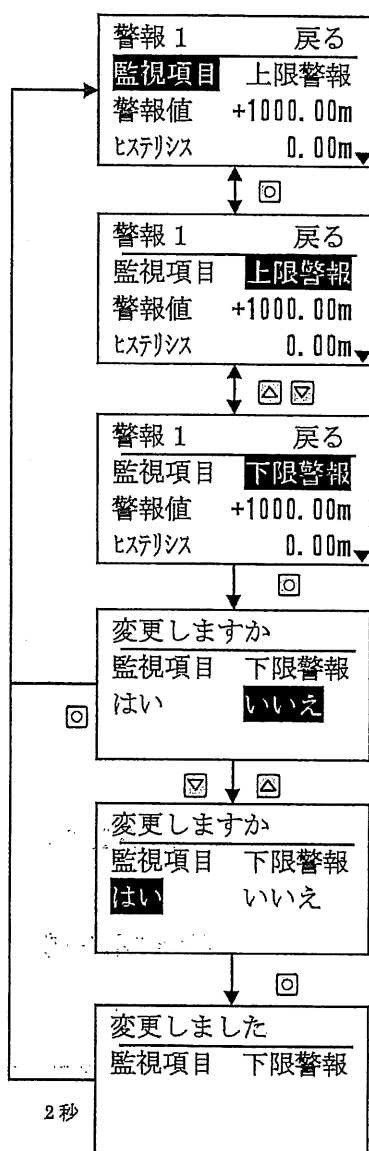
設定したい項目にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。それぞれの設定を変更できます。

また、「戻る」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押すと、警報番号選択画面に戻ります。

以下、警報個別設定項目の変更方法を記載します。

3.2. 警報設定

①-1 監視項目



水位センサの測定値に対して設定できる警報の監視項目を変更します。
「警報 1」～「警報 4」4つの警報には、それぞれ個別に上限警報か下限警報を割り当てられます。

画面二段目の右側に表示されているのが、現在の監視項目です。

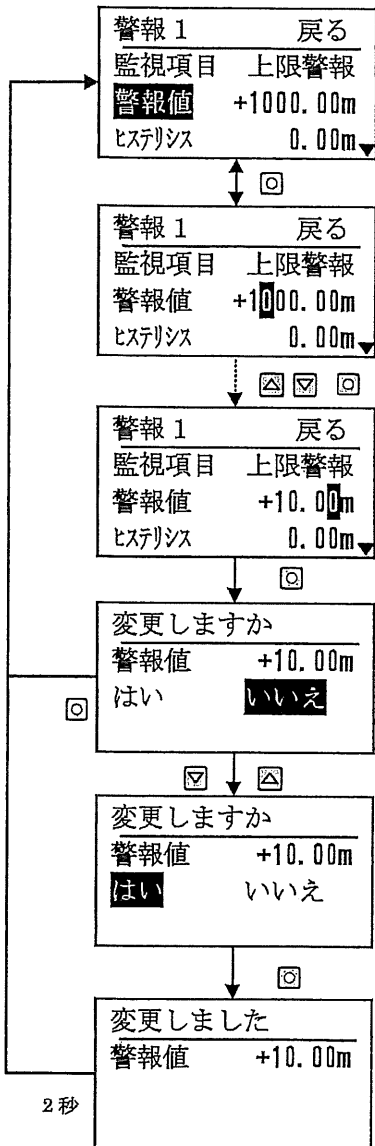
警報個別設定画面の「監視項目」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押してください。カーソルが現在の監視項目に移動します。

上/下ボタンで「上限警報」または「下限警報」に変更し、選択/決定ボタンを押してください。設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報個別設定画面に戻ります。

⚠ 監視項目を変更すると、設定中の警報番号の警報値設定やアラート設定が初期化されます。警報設定する場合は、必ず監視項目を先に設定してください。

①-2 警報値



水位センサの測定値に対して設定できる警報の警報値を変更します。監視項目が上限警報の場合、警報値以上の実水位を観測したときに、下限警報の場合、警報値以下の実水位を観測したときに、警報を出力します。画面三段目の右側に表示されているのが、現在の警報値です。

警報個別設定画面の「警報値」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押してください。カーソルが現在の警報値に移動します。

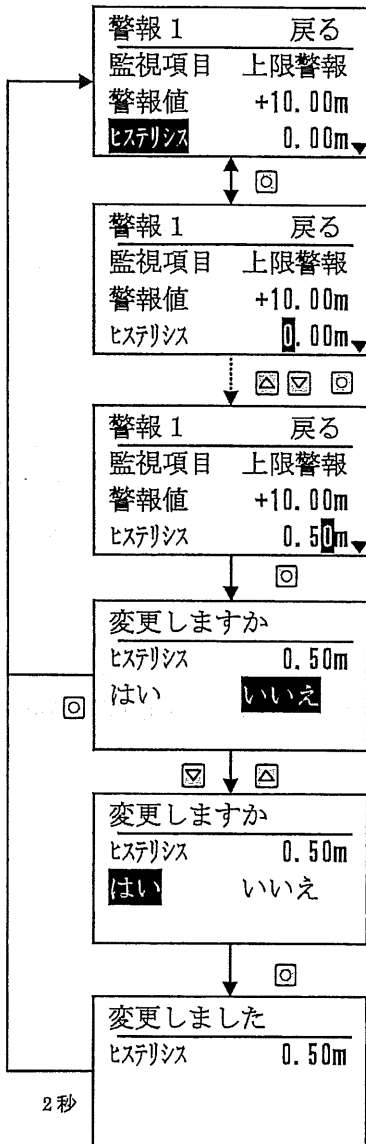
上/下ボタンでカーソル桁を増減し、選択/決定ボタンを押すと次の桁にカーソルを移動します。最下位の値を決定し、選択/決定ボタンを押すと、設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報個別設定画面に戻ります。

⚠ 水位警報の警報値は実水位値で設定するようになっていきますので、ご注意ください。地下水位値や標高水位値での設定はできません。

3.2. 警報設定

①-3 ヒステリシス

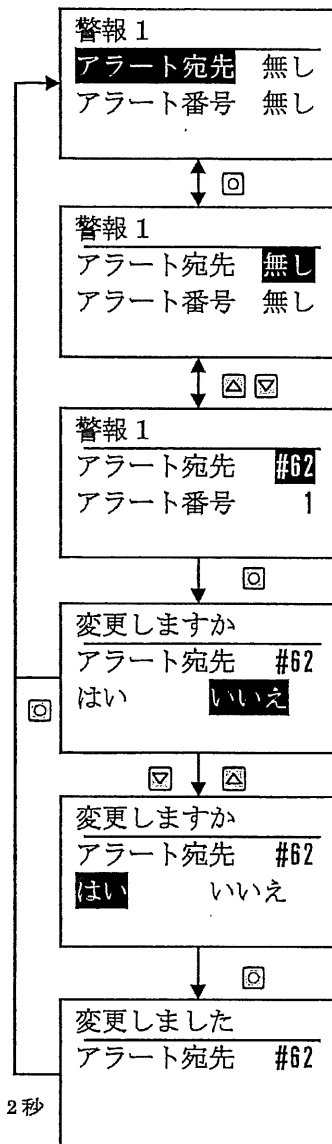


水位センサの測定値に対して設定できる警報のヒステリシスを変更します。ヒステリシスを設定すると、実水位測定値が警報値付近で上下した場合に、警報発令および警報解除の連続出力を抑止できます。画面最下段の右側に表示されているのが、現在のヒステリシスです。

警報個別設定画面の「ヒステリシス」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押してください。カーソルが現在のヒステリシスに移動します。上/下ボタンでカーソル桁を増減し、選択/決定ボタンを押すと次の桁にカーソルを移動します。最下位の値を決定し、選択/決定ボタンを押すと、設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報個別設定画面に戻ります。

①-4 アラート宛先



警報パケットの送信先 OSNET アドレスを確認/変更します。

警報パケットとは、本機で設定した各警報が ON/OFF した際、OSNET ネットワーク上に置かれた警報出力装置等に送出するパケット信号です。警報パケットには警報の種類を識別するための「アラート番号」と、その警報状態が ON か OFF かといった情報が入っています。

宛先の設定範囲は#00～#63、または「無し」です。

警報パケットの宛先をパケット通信機「NetMAIL-2」にしたい場合は「#62」、無線機「NetMI-3T」にしたい場合は「#63」に設定してください。(これらの機器の OSNET アドレスは固定されています)

なお、「無し」に設定すると、アラートは OSNET ネットワーク上に出されません。

画面二段目の右側に表示されているのが、現在のアラート宛先です。

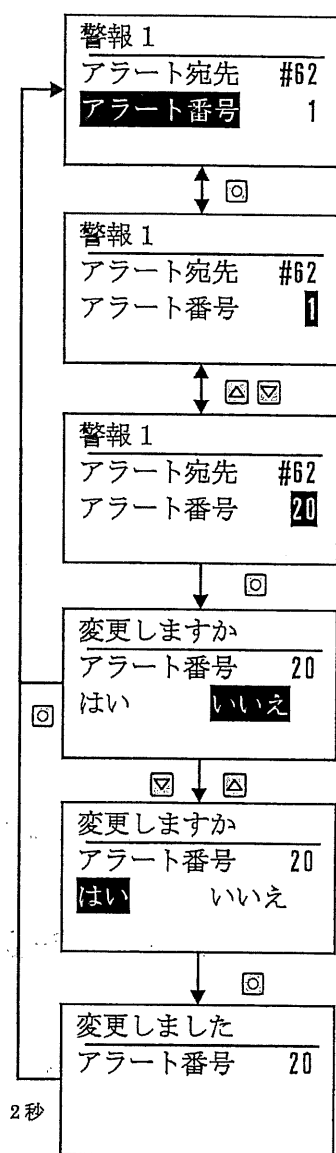
警報個別設定画面の「アラート宛先」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押してください。カーソルが現在の宛先に移動します。

上/下ボタンで警報出力装置等の OSNET アドレス(「#00」～「#63」)または「無し」に変更して、選択/決定ボタンを押すと、設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報個別設定画面に戻ります。

3.2. 警報設定

①-5 アラート番号



警報パケットを識別するアラート番号を確認/変更します。

警報パケットとは、本機で設定した各警報が ON/OFF した際、OSNET ネットワーク上に置かれた警報出力装置等に送出するパケット信号です。警報パケットには警報の種類を識別するための「アラート番号」と、その警報状態が ON か OFF かといった情報が入っています。

アラート番号の設定範囲は 1~49、または「無し」です。

なお、「無し」に設定すると、アラートは OSNET ネットワーク上に出力されません。

画面三段目の右側に表示されているのが、現在のアラート番号です。

警報個別設定画面の「アラート番号」にカーソルをあわせて選択/決定ボタンを押してください。カーソルが現在のアラート番号に移動します。上/下ボタンでアラート番号(「1」~「49」)または「無し」に変更して、選択/決定ボタンを押すと、設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報個別設定画面に戻ります。

②警報共通設定画面

警報共通設定画面では、警報接点の設定を確認/変更できます。警報番号選択画面で、「警報共通設定」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。

| | |
|----------|------|
| 警報共通設定 | 戻る |
| 接点極性 | A |
| 接点 ON 時間 | 10 秒 |

警報共通設定画面で確認/変更できる項目は下記です。

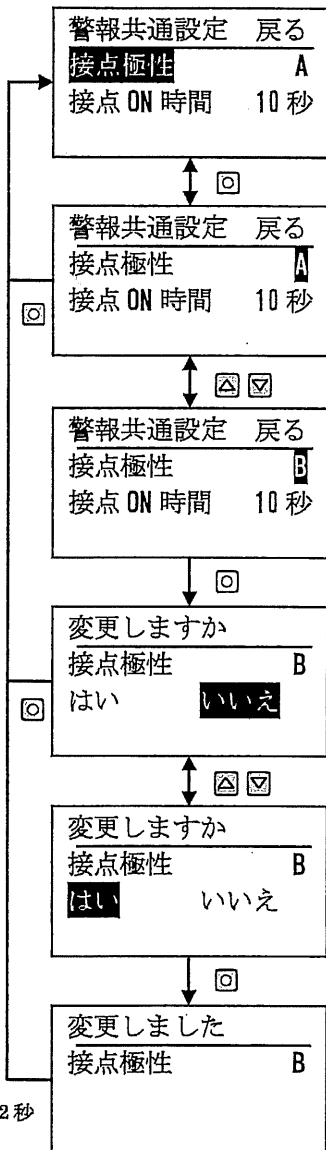
- 「②-1 接点極性」 (P.29)
- 「②-2 接点 ON 時間」 (P.30)

設定したい項目にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。それぞれの設定を変更できます。

また、「戻る」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押すと、警報番号選択画面に戻ります。

以下、警報共通設定項目の変更方法を記載します。

②-1 接点極性



警報出力接点の極性を変更します。

画面二段目の右側に表示されているのが、現在の接点極性です。

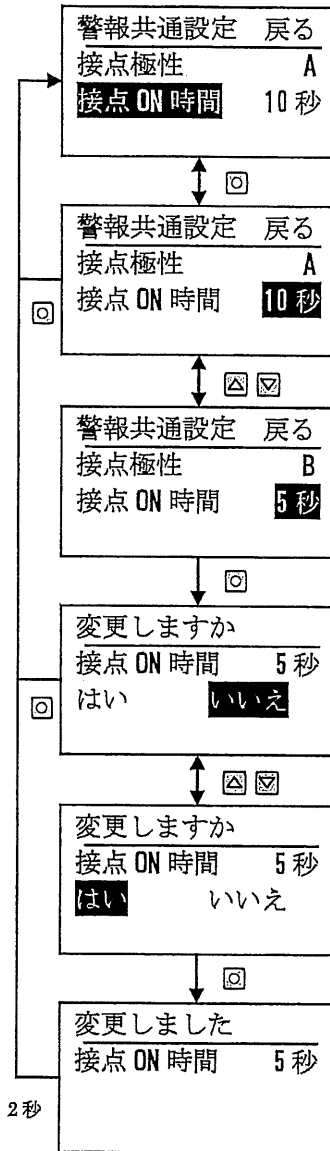
警報共通設定画面で「接点極性」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押すと、現在の接点極性にカーソルが移動します。

上/下ボタンで「A」(A 接点:平常時に開いた接点)または「B」(B 接点:平常時に閉じた接点)に変更し、選択/決定ボタンを押してください。設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報共通設定画面に戻ります。

3.2. 警報設定

②-2 接点 ON 時間



警報出力接点の出力時間を確認/変更します。

接点 ON 時間とは、警報発令の際に接点出力する時間で、警報発令時に接点を ON してここで設定した時間経過すると自動で OFF します。設定可能な範囲は 1 秒単位で 1~10 秒、または「未設定」です。「未設定」に設定した場合、警報 1~4 の何れかが警報発令中の間ずっと ON 状態を保ち、全ての警報が解除されると OFF 状態になります。

画面三段目の右側に表示されているのが、現在の接点 ON 時間です。

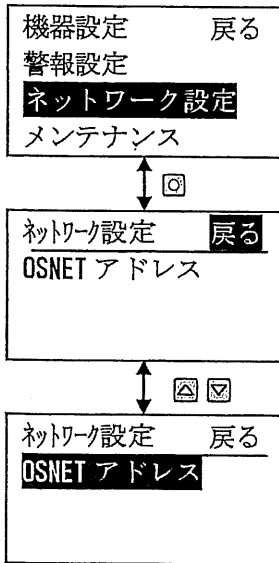
警報共通設定画面で「接点 ON 時間」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押すと、現在の接点 ON 時間にカーソルが移動します。

上/下ボタンで 1~10 秒、または「未設定」に変更し、選択/決定ボタンを押してください。設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、警報共通設定画面に戻ります。

ここで「いいえ」を選択すると設定を変更せずに、警報共通設定画面に戻ります。

3.3. ネットワーク設定

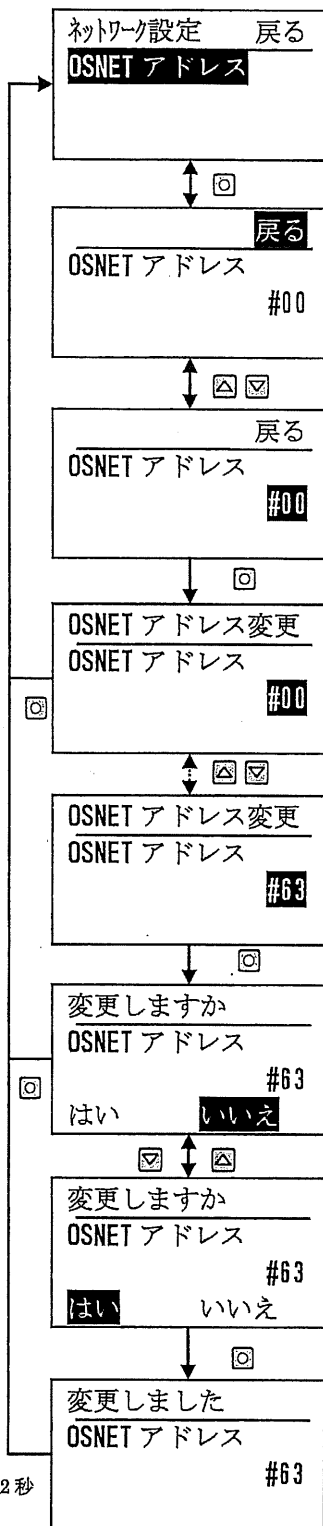


設定メニューで「ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、OSNET ネットワークに関する設定を行う「ネットワーク設定項目画面」が表示されます。ネットワーク設定項目画面で選択できる項目は「①OSNET アドレス」(P.32)です。

ネットワーク設定項目画面の右上に表示した「戻る」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、設定メニューのトップ画面に戻ります。

3.3. ネットワーク設定

① OSNET アドレス



本機の OSNET ネットワークアドレスを設定します。OSNET に接続する場合、ご利用になるシステムに合わせて設定してください。OSNET に接続しない場合は、設定変更する必要はありません。

ネットワーク設定項目の「OSNET アドレス」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押すと、OSNET アドレス変更メニューに移動します。三段目に表示されているのが、現在の OSNET アドレスです。

上/下ボタンで OSNET アドレスにカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、OSNET アドレス変更画面に移動します。上/下ボタンを押して、#00～#63 の範囲で設定したいアドレスに変更して、選択/決定ボタンを押してください。設定変更画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、機器設定項目画面に戻ります。

⚠ 他の機器と同じアドレス番号を設定しないでください。本機のみでなく他の機器にも正常にログインできなくなります。

⚠ パケット通信機および OSNET 無線機のアドレスは、それぞれ「#62」「#63」固定です。これらの機器と組み合わせて使用する場合は、「#62」「#63」を避けて設定ください。

3.4. メンテナンス

②SD カードチェック

| |
|-------------------|
| メンテナンス 戻る |
| ログ回収 |
| SD カードチェック |
| 水位センサ抵抗 |

| |
|---------------|
| SD カードチェック |
| チェックしますか |
| はい いいえ |

本機 SD カードスロットに挿入された SD カードが使用可能かどうかをチェックします。データ回収やログ回収等、SD カードを使用する際に、カードが使用可能か自動でチェックするため、通常は使用する必要はありません。

SD カードをチェックする場合は、メンテナンス項目の「SD カードチェック」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。SD カードチェック実行確認の画面を表示します。上/下ボタンで「はい」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。SD カードチェック後、その結果を表示します。

③水位センサ抵抗

| |
|----------------|
| メンテナンス 戻る |
| ログ回収 |
| SD カードチェック |
| 水位センサ抵抗 |

| |
|--------------|
| 水位センサ抵抗 |
| +3.000 キロオーム |

水位センサの入力抵抗(赤白リード線間の抵抗)の値を表示します。

メンテナンス項目の「水位センサ抵抗」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。

水位センサ抵抗画面を表示します。二段目に表示されているのが、現在の入力抵抗値です。

水位センサ抵抗画面で、選択/決定ボタンを押すと、メンテナンス項目画面に戻ります。

④警報履歴

| |
|-------------|
| メンテナンス |
| 警報履歴 |
| アラート履歴 |
| エラー履歴 |

| |
|-------------------|
| 警報履歴 |
| 16/03/24 14:00:00 |
| 警報 1 (上限警報) |
| 実水位 +5.00m |

| |
|-------------------|
| 警報履歴 |
| 16/03/23 17:00:00 |
| 警報 2 (上限警報) |
| 実水位 +4.20m |

本機の警報接点が ON になった警報発令履歴を確認します。警報記録は警報発令する度に更新され、最大 50 件蓄積されれば、それ以降は順次古い記録から消去して記録します。

メンテナンス項目の「警報履歴」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。警報履歴画面を表示します。

二段目が警報を発令した日時、三段目が警報番号およびその監視項目、四段目が警報発令時の実水位です。

カーソルは右上の警報表示番号にあり、最新の記録が 1、最古の記録が 50 となっていて、上/下ボタンで警報発令記録を切り替えます。

警報履歴画面で、選択/決定ボタンを押すと、メンテナンス項目画面に戻ります。

⑤アラート履歴

| |
|---------------|
| メンテナンス |
| 警報履歴 |
| アラート履歴 |
| エラー履歴 |

| |
|-------------------|
| 警報履歴 |
| 16/03/24 14:00:00 |
| 警報 1 ON 送信成功 |
| アラート宛先#62 番号 1 |

| |
|-------------------|
| 警報履歴 |
| 16/03/23 17:00:00 |
| 警報 2 ON 送信成功 |
| アラート宛先#62 番号 2 |

本機が OSNET ネットワークに送信したアラート(警報パケット)の履歴を確認します。アラート履歴はアラートを送信する度に更新され、最大 50 件蓄積されれば、それ以降は順次古い記録から消去して記録します。

メンテナンス項目の「アラート履歴」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。アラート履歴画面を表示します。

二段目がアラートを送信した日時、三段目が警報番号およびアラート種別とその送信結果、四段目がアラート宛先とアラート番号です。

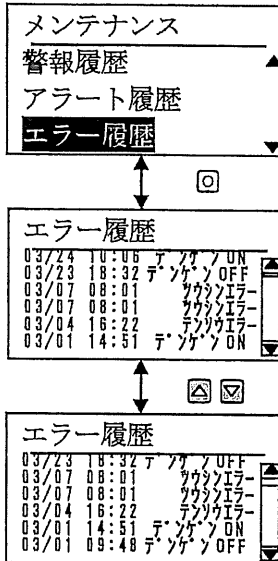
カーソルは右上のアラート表示番号にあり、最新の記録が 1、最古の記録が 50 となっていて、上/下ボタンでアラート記録を切り替えます。

アラート種別には、測定値が警報値に達したときに送信される「ON」、警報状態解除時に送信される「OFF」、記録状態変更時に送信される「クリア」、弊社製 OSNET ネットワークコントローラ「NetCT-1」を使用した警報テスト実行時に送信される「テスト」の 4 種があります。

アラート履歴画面で、選択/決定ボタンを押すと、メンテナンス項目画面に戻ります。

3.4. メンテナンス

⑥ エラー履歴



本機が異常処理をした履歴を確認します。エラー履歴は最新 60 件分確認できます。

メンテナンス項目の「エラー履歴」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。エラー履歴画面を表示します。

二段目以降がエラー履歴で、行ごとに異常処理をした日付と時刻、エラー内容が記載されます。

エラー履歴の右にはスクロールバーがあり、上/下ボタンを押すと履歴表示がスクロールします。この画面に入った直後は最新の 6 件が表示されますので、下にスクロールすることで、順次古いエラーを確認できます。

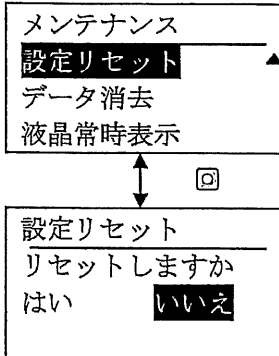
この画面で選択/決定ボタンを押すと、メンテナンス項目画面に戻ります。

エラー履歴に記載されるエラー内容は下表を参照ください。

《エラー履歴に記載するエラー内容》

| 表示 | 詳細 |
|----------|--|
| デンゲン ON | 電源が切断/復帰した際に記録します。 |
| デンゲン OFF | 電源切断中、本機は動作しません。 |
| テンソウエラー | SD カードへのデータ転送に失敗した際に記録します。 SD カードの状態異常(残量不足やロック等)、故障、規格外が考えられます。 |
| アラートエラー | OSNET ネットワーク上に送信したアラートが受信されない場合に記録します。 通信ケーブルの異常、送信先機器の電源低下、本機アラート宛先の誤設定、OSNET ネットワーク上に接続した機器の誤設定が考えられます。 |
| ツウシンエラー | OSNET ネットワークの通信で異常が発生した際に記録します。 通信距離が 1km を超えている、ケーブルの破断や短絡が考えられます。 |
| ポート NG | 内部エラーが発生した際に記録します。 |
| トケイ NG | 機器内部の回路等の故障が考えられます。 |
| フラッシュ NG | |
| パラメータ NG | ※弊社営業課または顧客サービス課までご連絡ください。 |

⑦ 設定リセット



本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

現場変更などに伴って接続するセンサを一新し、OSNET ネットワーク設定も変更する場合のように、設定内容を全てリセットしたいときに使用します。初期設定の詳細は「4.工場出荷時の設定」(P.39)を参照してください。

なお、設定リセットは記録状態が ON になっていると実行できませんので、記録状態を OFF にしてから実行してください。

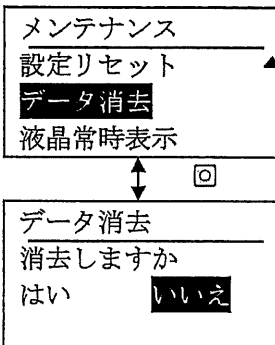
設定リセットを実施しても、記録データは消去されません。

設定リセットを実行する場合は、メンテナンス項目の「設定リセット」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。

設定リセット実行確認の画面を表示します。上/下ボタンで「はい」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。全設定をリセットします。

⚠ 設定リセットを実行すると、全ての設定が初期化されてしまいます。本機に精通し、運用方法まで完全に理解されている方以外は、絶対に実行しないでください。

⑧ データ消去



本機の記録データを一括で消去します。

試験的にデータを入力した場合や、別現場で新規に測定を開始する場合等、記録データを消去したいときに使用します。

なお、データ消去は記録状態が ON になっていると実行できませんので、記録状態を OFF にしてから実行してください。

データ消去を実施しても、本機設定内容は保持されます。

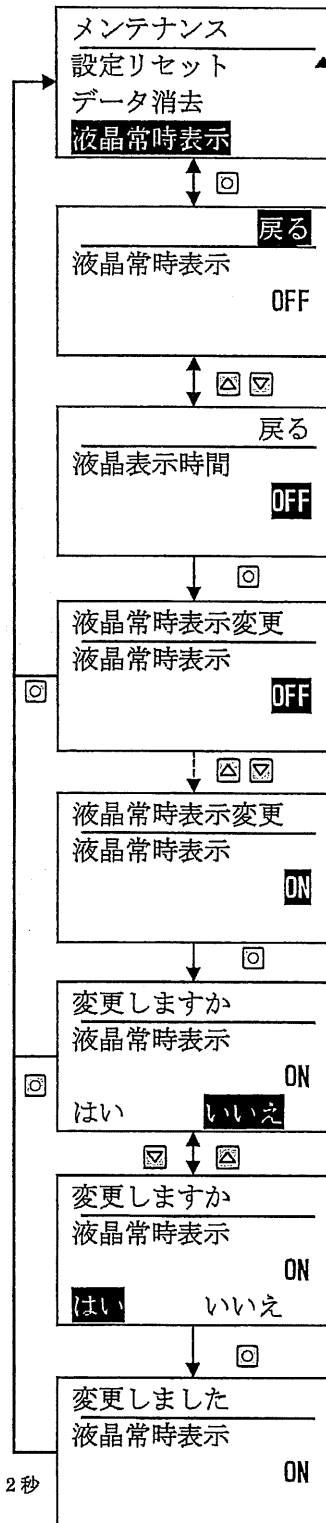
記録データを消去する場合は、メンテナンス項目の「データ」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。

データ消去実行確認の画面を表示します。上/下ボタンで「はい」にカーソルをあわせて、選択/決定ボタンを押してください。記録データを消去します。

⚠ データ消去を実施すると、記録されているデータは全て消去されてしまいます。運用方法についてご理解されている方以外は実施しないように注意してください。

3.4. メンテナンス

⑨液晶常時表示



液晶画面を常時表示するかどうかを設定します。

通常、液晶画面に各画面を表示した状態で、ボタン操作せずに一定時間（データ表示画面表示時は1分、設定メニュー表示時は3分）が経過すると、画面表示を終了し、消灯します。

ここでは自動消灯を行わず、常に液晶画面を表示するよう設定できます。

メンテナンス項目の「液晶常時表示」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。液晶常時表示変更メニューに移動します。

三段目に表示されているのが、現在の液晶常時表示機能の状態です。

設定が「ON」であれば液晶画面を表示したまま消灯せず、「OFF」であればボタン操作をせずに一定時間経過すると自動で消灯します。

上/下ボタンで現在の液晶常時表示機能の状態にカーソルを合わせて、選択/決定ボタンを押すと、液晶常時表示変更画面に移動します。上/下ボタンで「ON」「OFF」を切り替えて、選択/決定ボタンを押してください。

設定変更確認画面に移動します。

変更間違いがない場合は、上ボタンで「はい」にカーソルを合わせ、選択/決定ボタンを押してください。変更完了画面を表示後、メンテナンス項目画面に戻ります。

⚠ 液晶表示中、本機は多くの電力を消費します。液晶を常時表示して運用する場合は、十分な電源を確保してください。

4. 工場出荷時の設定

本機は、工場出荷の際、下記のように設定されています。「3.4.メンテナンス」の「⑦設定リセット」(P.37)を実行すると、この設定にリセットされます。

| 設定項目 | 初期状態 |
|-----------------|-----------------|
| OSNETネットワークアドレス | #00 |
| 水位記録インターバル | 1時間 |
| 水位センサ係数 | 1000.0 |
| 水位センサオフセット | 0.00 m |
| 水位センサ深度 | 0.00 GL-m |
| 地表面標高 | 0.00 EL.m |
| 水位転送データ | 実水位と地下水位 |
| 水位グラフ表示データ | 実水位 |
| 水位警報監視項目 | 上限警報 |
| 水位上限警報値 | +1000.00 m |
| 水位上限警報ヒステリシス | 0.00 m |
| 水位下限警報値 | -1000.00 m |
| 水位下限警報ヒステリシス | 0.00 m |
| 水位警報アラート番号 | 無し |
| 水位警報アラート宛先 | 無し |
| 警報接点極性 | A接点 |
| 警報接点ON時間 | 10秒 |
| 地点名 | 未設定 |
| ノイズフィルタ | 60Hz |
| 液晶常時表示 | 常時表示OFF(自動消灯する) |

[MEMO]

株式会社 **オサシ・テクノス** <http://www.osasi.co.jp/>

本 社 〒780-0945 高知県高知市本宮町 65 番地 3

TEL:088-850-0535

FAX:088-850-0530

東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-10-2 (住友生命西新橋ビル 4F)

TEL:03-5510-1391

FAX:03-5510-1393

九州支店 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 4-1-17 (岩保ビル駅南 4F)

TEL:092-434-9200

FAX:092-434-9201